

2013年3月5日

田園都市線で新しいタイプのホームドアの試験運用を実施します

東京急行電鉄株式会社
日本信号株式会社

東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)と日本信号株式会社(以下、日本信号)は、国土交通省の鉄道技術開発費補助金を活用して、現在、日本信号が開発を進めている「昇降スクリーン式ホームドア」(以下、本ホームドア)の試験運用を、2013年夏頃から田園都市線つきみ野駅下りホームで実施します。

目的は、本ホームドア開発に東急電鉄が協力、営業線で試験運用を実施し、安全性、実用性、耐久性などを確認する事です。両社で各種性能の評価および実用性の検証を実施し、さらなるホーム上の安全性向上や今後の展開の可能性について検討していきます。

本ホームドアは、約10m間隔で設置した柱間に張られたワイヤーロープが列車の到着・出発に合わせて昇降するタイプです。扉数の異なる車両が混在している路線への導入やシンプルな構造とすることで導入コストの低減を目指しています。今回の試験運用では、より実用化を意識した検証を実施するために両社で協議し、ホーム全長約200mに設置する予定です。

<イメージ図>



ホームドア下降時



ホームドア上昇時

以 上